

## 第 2 期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画の策定について

### ◎ 趣旨

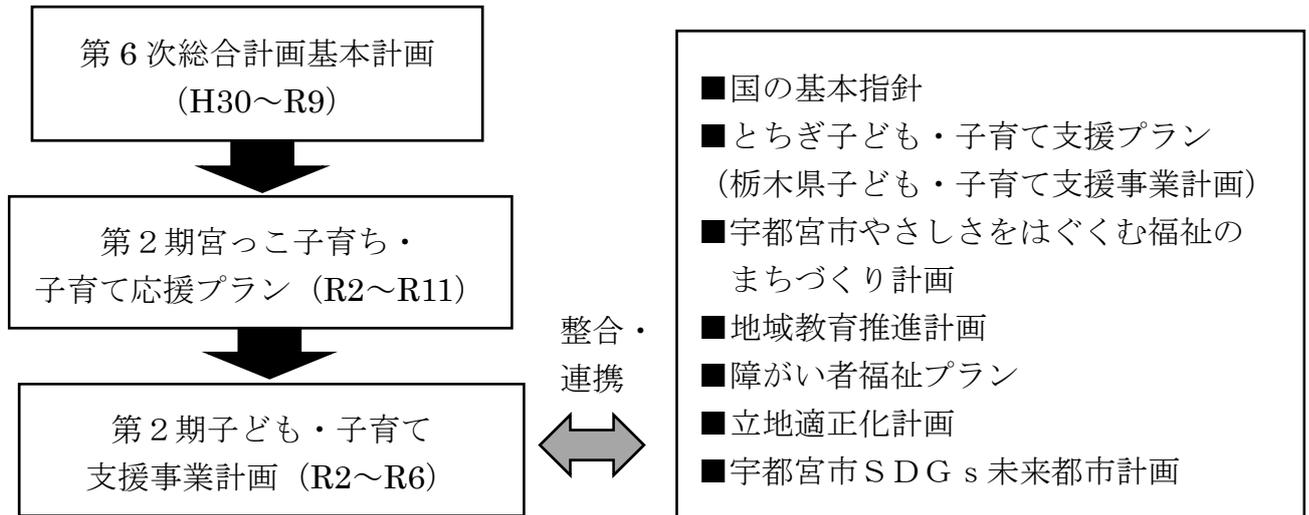
第 2 期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画（素案）を取りまとめたことから、その内容について意見を聴取するもの

#### 1 策定の目的

第 1 期計画に基づく取組の結果、年度当初においては平成 29 年度から 3 年連続、年度中間においても平成 30 年度から 2 年連続で待機児童ゼロを達成したところだが、女性就業率の上昇や幼児教育・保育の無償化などの社会状況の変化による保育ニーズの高まりなどを踏まえ、安心して子どもを産み育てられる環境をより一層充実・強化していくことが求められているため、幼児期の学校教育や保育、子育て支援などに関するニーズを適切に捉え、年間を通じた待機児童ゼロの継続的な実現を目指し、第 2 期計画を策定する。

#### 2 計画の位置付け

- ・子ども・子育て支援法第 61 条の規定に基づき、市町村が 5 年を一期として定めるもの
- ・「総合計画」、「宮っこ子育て・子育て応援プラン」に即し、国の基本指針に基づきながら、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制を確保するための計画



#### 3 計画の期間

令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 か年度  
 （第 1 期計画：平成 27 年度～令和元年度）

## 4 策定経過

令和 元年 7月 子ども・子育て会議（現状と課題，第1期計画評価）  
10月 子ども・子育て会議（量の見込み，供給体制の確保）

## 5 計画の内容・特徴

### (1) 内容

第2期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画概要版（案）・・・別紙1-1  
第2期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画（素案）・・・・別紙1-2

### (2) 特徴（別紙1-3参照。）

#### ア 年間を通した待機児童ゼロの継続した実現を目指した確保体制の実施

第1期計画に基づく供給体制の確保や「利用定員の弾力化」の活用により，年度当初においては平成29年度から3年連続，年度中間においても平成30年度から2年連続で待機児童ゼロを達成しており，第2期計画においては，女性就業率の上昇や幼児教育・保育の無償化などの社会状況の変化を十分に見極めた上で，それに対応する施設整備や，保育補助者の配置・保育所等のICT化の推進など，働きやすい環境整備による保育士確保策などの対応策を盛り込み，年間を通した待機児童ゼロの継続的な実現を目指す計画とした。

#### イ 局所的な保育ニーズや新たなニーズへの対応

駅周辺等における局所的な保育ニーズや，LRTの整備等に伴う，自動車を利用しない世帯の保育ニーズ，休日保育や一時預かりなどの特別保育のニーズの高まりなど，新たなニーズが見込まれていることから，量への対応に加えて，利用者の利便性や利用実態を踏まえた区域設定の見直しや，特別保育の実施施設の充実など，多様なニーズへの対応策を盛り込んだ。

#### ウ 既存施設の活用を基本とした供給体制の整備

少子化が進む一方で，働き方改革に伴う女性の就業率の向上や幼児教育・保育の無償化による保育ニーズの増加により，計画期間中の保育ニーズがほぼ横ばいで推移していくことが見込まれるなか，将来的な需要の減少を見据え，供給体制の確保にあたっては，新たな誘導策を活用した幼稚園の認定こども園への積極的な移行促進や既存保育所の増改築・分園整備，「利用定員の弾力化」の活用など，既存施設を最大限活用する計画とした。

## 6 今後のスケジュール

令和元年12月 子ども・子育て会議（計画素案）  
令和2年 1月 パブリックコメントの実施  
2月 子ども・子育て会議（パブリックコメントの実施結果等）  
3月 計画策定